

図書館カレンダー

8月	19	水	
	20	木	
	21	金	
	22	土	
	23	日	
	24	月	休館 (りづらん・大信)
	25	火	休館 (表郷・東)
	26	水	
	27	木	
	28	金	
	29	土	
	30	日	
	31	月	休館 (りづらん・大信・東)
9月	1	火	休館 (表郷・東)
	2	水	休館 (りづらん・表郷・大信)
	3	木	
	4	金	
	5	土	▷大人向け上映会 『どこまでもいこう』 りづらん 13:30~
	6	日	
	7	月	休館 (りづらん・大信)
	8	火	休館 (表郷・東)
	9	水	
	10	木	
	11	金	
	12	土	
	13	日	
	14	月	休館 (りづらん・大信)
	15	火	休館 (表郷・東)
	16	水	
	17	木	▷大人向け上映会 『どこまでもいこう』 りづらん 13:30~

【各図書館の問い合わせ先／開館時間など】  
**りづらん** ☎③3250／10:00~18:00  
**表郷図書館** ☎③24784／10:00~18:00  
**大信図書館** ☎④63614／10:00~18:00  
**東図書館** ☎④1130／10:00~18:00

※最新の情報は、図書館にお問い合わせいただくか、ホームページや館内掲示板をご確認ください。



図書館からのお知らせ

《りづらんの開館時間》  
 9月1日(火)まで (9月2日(水)は館内整理日のため休館)  
 ▷平日 午前10時~午後6時  
 ▷土曜日・日曜日・祝日 午前10時~午後5時  
 9月3日(木)から  
 ▷平日 午前10時~午後7時  
 ▷土曜日・日曜日・祝日 午前9時30分~午後6時  
 ●エントランスの開館時間  
 ▷平日 午前9時~午後9時  
 ▷土曜日・日曜日・祝日 午前9時~午後6時

《イベント情報》  
 ●大人向け上映会  
 9月から大人向け上映会を再開します。新型コロナウイルス感染症防止対策として、人数を制限して上映します。マスクを着用のうえ、ご覧ください。  
 ▷人数 各回先着25人  
 ※縮小していたサービスを段階的に緩和します。引き続き限定するサービスもありますので、図書館ホームページや館内掲示板をご覧ください。

今月のテーマ展示

大人向け  
 夏本番！今年は雨が多く、蒸し暑い日が続いています。そこで7月から引き続き8月も、夏を乗り切るために、心身ともに涼になれる本をご紹介します。

子ども向け  
 「夏」  
 『自由研究・自由工作』  
 楽しい遊びがいっぱいの夏。そんな夏にぴったりの、自由研究に関する本や図鑑、工作の本を集めました。元気いっぱい、夏を過ごしましょう！

※ホームページでもオススメの本を紹介しています。

おすすめ新刊

《一般図書》  
 ニューヨーク・タイムズが報じた100人の死亡記事  
 ウィリアム・マクドナルド／編 矢野野薫 他／訳  
 1851年創刊以来の死亡記事より、リンカーンら日本でも著名な100人を抜粋。事件的な訃報も多く、その時代を生きた人々のリアルタイムな緊迫感が伝わってきます。

《児童図書》  
 語感をみがこう  
 見て・くらべてオノマトペ！  
 にやにや・くすくす気持ちのこぼれ  
 小野 正弘／監修  
 身近なオノマトペの世界を深掘りするシリーズ。  
 落ち込んだときの「がっかり」と「がっくし」や、驚いたときの「げっ」と「ぎよっ」の違いをとことん追求します。

小峰城よもやま話

第五話  
 白河結城家時代の小峰城

これまでの回で、小峰城の築城時期は、文献資料の記載から南北朝時代の1300年代半頃と紹介してきました。今回は、その実態について探ってみます。現在、私たちが目にしている城の姿は、その大半が江戸時代に初代藩主丹羽長重が石垣づくりの城に大改修したものです。それ以前は、自然地形をいかしながら、建物を建てる平場や、堀・土塁などで構成されていま

1200~1300年頃の中国製青磁が出土しています。当時、青磁は主に城郭や都市において、権力者や富裕層など限られた人だけが入手できたものであったため、貴重品でした。以上が、発掘調査で確認された白河結城家時代の城の存在につながるものです。城としての存在は、遺構・遺物から1500年代まで間違いなく遡ることができ、遺物からそれ以前に遡る可能性も考えられます。しかし、その実態は依然としてベールに包まれたままです。今後の発掘調査などで、白河結城家が築城した南北朝時代の小峰城の形が明らかとなることを期待しています。

残念ながら、現在は江戸時代以前の城の姿を地表で確認できません。そこで、これまで行われた発掘調査結果から、当時の痕跡を探ってみようと思います。本丸から東側に延びている丘陵の南側斜面では、1980年代に発掘調査が行われ、ルソン壺と言われる陶器の破片が見つかりました(写真上)。この壺は、豊臣政権時代に茶壺として重宝され、高値で取り引きされたため、所持できたのは大名や豪商など、限られた人物でした。災害復旧に伴う石垣の裏側の調査では、本丸南面で1500年代前半頃の素焼きの土器が出土し、竹之丸南面では、江戸時代以前に遡る炉跡などの遺構が確認されています(写真下)。



未来につなぐ 相続登記 Vol.5

登記上の所有者と実際の所有者が異なるケースが数多く存在し、災害復旧の妨げや空き家増加などの問題が社会的関心を集めています。このコーナーでは、相続登記の必要性・重要性を全5回のシリーズでお伝えします。

Q 親から土地を相続したが、お隣との境界が分からない場合どうすればいいですか？

A 最寄りの法務局や、市町村にある公図(地図)を取得して土地の形状や境界線の確認をしてください。もし、以前に測量(分筆登記など)をした経緯があるなら、法務局に地積測量図が備え付けてある場合がありますので、それを取得して境界線や境界杭などをご確認ください。

それでも分からない場合は、最寄りの土地家屋調査士に相談したうえで「境界の復元測量」を依頼してください。万一、隣接者と境界不明でトラブルになった場合(なっている場合)は、福島県土地家屋調査士会に併設されている「境界紛争解決支援センターふくしま」や、法務局の「筆界特定制度」をご利用ください。

ご不明な点は、お問い合わせください。☎福島県土地家屋調査士会 024-534-7829 / 福島地方務局 024-534-2045